

阿南工業高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)		授業科目	電気電子工学総合演習
科目基礎情報						
科目番号	0036		科目区分		専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科	電気電子工学科（平成25年度以前入学生）		対象学年		4	
開設期	通年		週時間数		1	
教科書/教材	必要に応じて各教員が配布する/					
担当教員	中村 厚信					
到達目標						
1. 先端分野の知識を資料購読や演習を通じて理解し、説明できる。 2. 卒業研究をする上でテーマの背景や目的を理解し、問題に対する解決方法について自分なりにまとめることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達のレベル	
到達目標1	説明があった内容に対して、自分で情報収集を行い、周辺知識についても説明できる。		先端分野の知識を資料購読や演習を通じて理解し、説明できる。		授業で紹介された技術について説明できない。	
到達目標2	研究の背景や目的を理解し、解決方法を提案できる。		研究の背景や目的を理解し、説明できる。		研究の背景や目的を説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	5年次の卒業研究を遂行するにあたって必要な基礎知識を学び、課題に対するアプローチ方法について検討できる。					
授業の進め方・方法						
注意点	研究をする上で、主体的かつ継続的に取り組むことは必要不可欠であるので、この講義を通じてそのような姿勢を身に着けてほしい。また、研究を遂行する上で要求される情報収集能力や課題発見力、論理的思考力も身に着けてほしい。 。プレゼンテーション資料の作成方法について学習した技術は、卒業研究や校外実習報告会などの場で生かせるよう、しっかりと修得してください。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	プレゼンテーション作成方法		研究内容をプレゼンテーションできる能力を身に着けるためのPowerPoint実習を通じて、プレゼンテーションにおいて効果的に情報を伝える技術について修得できる。	
		2週	プレゼンテーション作成方法		研究内容をプレゼンテーションできる能力を身に着けるためのPowerPoint実習を通じて、プレゼンテーションにおいて効果的に情報を伝える技術について修得できる。	
		3週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		4週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		5週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		6週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		7週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		8週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
	2ndQ	9週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		10週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		11週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		12週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		13週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		14週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	
		15週	研究紹介		各教員による研究内容を含む先端分野の紹介を通じて、その技術開発が必要な背景や目的について説明できる。	

[illegible]

		13週	仮配属研究室における課題解決	希望調査を行い、受け入れ人数枠で別途設定した基準をもとに仮配属先を決定。 希望調査に当たり、研究紹介において得られた情報だけでなく、自ら進んで情報を収集し、自分の興味や志向に合った研究室を選ぶことができる。 指導教員の設定したテーマに基づく文献調査や演習、実験を通じて、問題の背景や目的を説明できる。
		14週	仮配属研究室における課題解決	希望調査を行い、受け入れ人数枠で別途設定した基準をもとに仮配属先を決定。 希望調査に当たり、研究紹介において得られた情報だけでなく、自ら進んで情報を収集し、自分の興味や志向に合った研究室を選ぶことができる。 指導教員の設定したテーマに基づく文献調査や演習、実験を通じて、問題の背景や目的を説明できる。
		15週	仮配属研究室における課題解決	希望調査を行い、受け入れ人数枠で別途設定した基準をもとに仮配属先を決定。 希望調査に当たり、研究紹介において得られた情報だけでなく、自ら進んで情報を収集し、自分の興味や志向に合った研究室を選ぶことができる。 指導教員の設定したテーマに基づく文献調査や演習、実験を通じて、問題の背景や目的を説明できる。
		16週	仮配属研究室における課題解決	希望調査を行い、受け入れ人数枠で別途設定した基準をもとに仮配属先を決定。 希望調査に当たり、研究紹介において得られた情報だけでなく、自ら進んで情報を収集し、自分の興味や志向に合った研究室を選ぶことができる。 指導教員の設定したテーマに基づく文献調査や演習、実験を通じて、問題の背景や目的を説明できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	合計
総合評価割合	0	0	70	0	30	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	70	0	0	70
分野横断的能力	0	0	0	0	30	30